

17 着衣着火

【関連章第6章3】

事例1 「ガステーブルの火に着衣が接触し、負傷者が発生した火災」

出火時分 8月 11時ごろ

用途等 住宅 防火造 2/0 延 130 m²

被害状況 建物ぼや1棟 着衣2枚焼損 傷者1人

概要

この火災は、住宅の1階台所で発生したものです。

出火原因は、居住者がガステーブルで調理している際に、ガステーブルに背を向け冷蔵庫から物を取りだそうとした際に、背中側の着衣がこんろの火に接触し出火したものです。

火災に気付いた居住者の夫は、衣類をその場で脱がせ、洗面所に移し水道水をかけて初期消火を行いました。

居住者の夫は、怪我の状況を確認したのち 119 番通報を行いました。

教訓等

この火災は、火を使用していることに気付かず近づいたため、着衣に着火しています。

ガステーブルによる着衣着火は、ガステーブルに背を向けて作業しているときやガステーブルの奥側へ手を伸ばした際に着火することがあり、注意が必要です。

ガステーブル付近で調理や作業を行う場合は、確実に火を消してから行い、出火防止に努めましょう。

また、被害を最小限に抑えるために、防災製品の衣類（エプロンやアームカバー等）を着用することも有効な手段の一つです。



写真 17-1 ガステーブルの状況



写真 17-2 焼損した着衣の状況（背中側）